

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	微量化学物質健康影響評価等調査費	担当部局庁	環境保健部	作成責任者
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度～	担当課室	環境安全課	上田 康治
会計区分	一般会計	施策名	6-1環境リスクの評価	
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	-	

事業の目的
(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)

一部の環境化学物質について、アレルギー性喘息等を誘発・増悪させる可能性について専門家から指摘されているものの、不明な点も多く、これらの実態やメカニズム等の調査・研究を進める。

事業概要
(5行程度以内。別添可)

環境中の微量な化学物質による健康影響について、国内外の文献及び諸外国や諸機関の報告書等の基礎調査を行い、情報の収集、取りまとめを行うとともに、これらを踏まえ、今後の研究の方向性について検証する。

実施方法

直接実施 委託・請負 補助 負担 交付 貸付 その他

予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	29	21	20	11	60
	執行額	34	24	8			
	執行率(%)	117%	114%	40%			

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	成果実績	当事業は、複合影響についての情報収集及び研究等を実施するものであるため、その成果について、目標を数値化して設定し、評価することは困難。					
	達成度		%				

活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	活動実績	当事業は、複合影響についての情報収集及び研究等を実施するものであるため、その活動実績を数値化して示すことは困難。	(当初見込み)		()	()	()
							-

単位当たりコスト

算出根拠

平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
	環境保全調査費	11	60	事業番号新24-010緊急的化学物質対策推進経費から、化学物質の複合影響に関する調査事業(25年度要求額:50百万円)を統合したことによる増額。
計	11	60		

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・複数の化学物質が同時に作用した場合の影響については、これまであまり研究が進んでおらず、そのメカニズムや具体的な健康影響については不明な点も多いが、一般環境中では、複数の化学物質が同時にばく露するものであり、国民の関心も高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・入札により調査実施機関を選定。専門家の検討会に環境省職員が出席し、適宜、事業が適正に履行されたことを確認。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・化学物質の複合影響に関する評価手法や評価事例、微量な化学物質と健康影響との関連性等の国内外の情報について収集・整理するとともに、行政として取り組む具体的事項や課題、必要な調査研究の手法等について知見をとりまとめた。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 厚生労働省	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	これまでに、最新の知見や国際的な取組状況についての情報収集を実施しており、今後とも、こうした情報をもとに、引き続き具体的研究方法等を検討し、効率的に事業を進めていく必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	複数年度に渡り実施していることから、既存の知見を活かす等、事業内容を精査すること等により、予算額の節減に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	試験補助に係る賃金や雑役務費等を見直すことにより、概算要求額を縮減。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	保健-03	平成23年行政事業レビュー	205

※平成23年度実績を記入

環境省
8百万円

「化学物質の複合ばく露試験」の企画立案
「化学物質ばく露による健康影響に関する文献情報調査」の企画立案

【一般競争】

A.(財)化学物質評価研究機構
3百万円

化学物質ばく露による健康影響評価
検討

【一般競争】

B.(財)化学物質評価研究機構
5百万円

環境中の微量な化学物質による健康影響に
関する情報収集

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記載)

A.化学物質評価研究機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ、回答を得ることができなかった。	3			
計		3	計		0
B.(財)化学物質評価研究機構			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ、回答を得ることができなかった。	5			
計		5	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	中央労働災害防止協会	化学物質ばく露による健康影響評価検討業務	3	3	48%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(財)化学物質評価研究機構	環境中の微量な化学物質による健康影響に関する情報収集	5	1	100%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					